

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイSES沼津校		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 10日		R7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R7年 2月 10日		R7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	引っ越しに伴い事業所内が広くなり、活動内容に幅が出てきた。	集団活動時間を隔曜日に設定し、様々な活動の提供を行っている	今後は利用児童からの希望なども取り入れていくために支援員だけではなく児童含めた振り返りを検討していきたい
2	土曜日の活動内容が充実してきた	食事作りを通じた生活力の向上だけでなく、外出なども検討している。また同法人内での合同行事を行い交流を図っており児童、支援員ともに関りが広がっている	来年度も児童や保護者の意見、希望なども取り入れ拡充していきたい
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎時間によっては支援員が薄くなってしまう時もある。	送迎場所、送迎時間が多くなってきたこと。	新規支援員の採用・送迎の組み合わせなど様々な検討をして改善していきたい。
2	地域の放課後児童クラブや地域に開かれた活動が出来ていない	放課後児童クラブは学校内にあり、どのように交流を持ってよいのか手だてがわからない。	情報を集め、少しずつでも交流や地域に開かれた活動ができるようにしていきたい
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイSES沼津校		公表日		R7年 3月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		引っ越しに伴い室内が広くなり子どもたちが喜んで活動している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		勤務年数が長い職員が多く有資格者が配置できている	利用児童増に伴い、配置基準を上回る支援員が時間帯によって必要になってきている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		ワンフロアになったがカーペットを引くなどの分けをし活動場所をわかりやすくしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		簡易テントなども活用しお気に入りの場所になっている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		相談室を適宜使用し、カムダウンやクールダウンに使用している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		勤続年数が長くコミュニケーションが密になっているので意見も言いやすい環境になっている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		会議等で支援員内での周知を行っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		全員での会議時間はなかなか取りにくいですが、報告連絡は密に行えている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>			今後行っていきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		地域の他事業所との事例検討会に定期的に参加。また同グループ内研修も行っている		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		作成したものを支援員間で共有した		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		日々の気づきを支援員間で共有し、送迎時などの話からもニーズや課題を収集している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		計画作成時は児発の方から計画の意図の説明を行い共通理解をしている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画作成時は児発の方から計画の意図の説明を行い共通理解をしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		標準化されたアセスメントツールを模索している。日々の行動観察や記録については特定の支援員だけではなく皆で行っている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		地域支援、地域連携についてはまだ課題が多く感じている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		立案に関しては各支援員に分担しているが振り返りなどは全体で行い改善に努めている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		他事業所の情報や児童の希望などを取り入れて、新しいものを出すようにしている		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動の時間を固定化しつつ、個別活動時間も確保している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援員が全員集まることは難しいが、参加できない支援員にも情報共有ができるよう密にコミュニケーションを図っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		口頭だけではなくSNSなども使用しながら行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		行動観察や加算についての記録を必ず行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		日々の気づきから計画の見直しの必要性があれば行うようにしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		小学生から高校生までの幅広い年代に対応できるように必ず複数入っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中だけではなく、生活のおやつなども自ら50円分選び摂取している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発が必ず参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			地域保健や医療などとの連携はまだ行っていない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		特別支援学校や支援級などとは情報共有が出来てきているが、基本はご家族を通して行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			ご家族を通しての情報共有になっているので今後行っていきたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			出来ていないので今後行っていきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			地域の児童発達支援センター機能が十分に活動していない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園などでは地域の子と遊ぶことがある	学校などに併設しているためハードルが高く行えていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		必ず参加している	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎時など連携を取っている		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			相談や不安点など適時受け付けているが研修の機会などの提供は行っていない	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		丁寧な心がけて行っている。また質問も受け付けている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児童に関しては様々な形での意思表示ができるようツールを用意している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡帳や送迎時など気軽に相談できる体制を取っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現在父母会などは開催していない。希望があれば行っていきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応フローを準備している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログだけではなくインスタグラムを始め発信を強化している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		画像などは特に注意を払って掲載している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ツールを準備し児童にあったものを検討し使用している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		出来ていない。今後の課題として検討していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			家族周知がまだできていない状況なので早急に準備を進めている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難訓練を年2回以上行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に聞き取りを行い、変更があれば伝えてもらっている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		準備はあるが、現在利用児童には該当者がいない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			計画の策定は行っているが、研修や訓練が不十分なため行っていきたい
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			契約時に行っているがまだ不十分なので家族周知をしっかりと行いたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内だけではなく同法人内で共有し啓発に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		必ず行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			現状身体拘束を必要としていないため行ってはいるが、今後必要児童についてはおこなって行きたい	